

- 現場に居合わせた職員がいない場合に、災害発生報告を受けた職員が「事実証明書」を作成
- 報告を受けた時刻、報告の内容などを具体的に記入

現 認 書
 事 実 証 明 書

被災する職員事に項	被災職員の職氏名	教諭 福山 春子
	災害発生の日時	令和〇〇年〇〇月〇〇日（〇曜日）午前8時00分ごろ
	災害発生の場所	〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 〇〇前交差点
災害発生の状況 現認者等と被災職員との関係も明記のこと	私は被災職員の学校の教頭です。	
	被災当日の朝、午前8時15分ごろに被災職員から事故の報告の電話がありました。私が本人から電話で聞いた事故の状況は次のとおりです。	
	—いつもは県道を通して通勤しているが、工事のため迂回路を通して出勤していた。〇〇前の交差点で赤信号のため一時停止をしていたところ、後続の自動車に追突され、首に痛みを覚えた。	
	警察へ連絡したので、加害者とともに現場検証を受けてから、病院へ寄っていきます。—	
	私は、加害者の連絡先などを確認しておくことや、病院での診察が終わったら連絡するよう伝え、無理をしないようにと言いました。	
	なお、事故の原因は、加害者のわき見運転であるとのことでした。	
	また、被災当日に県道の拡幅工事があり、通行止となっていたことを確認しています。	
	上記のとおりであることを証明します。	
	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
	現認者等の証明	住所
所属		〇〇市立〇〇小学校
職氏名		教頭 〇 〇 〇 〇

現住所を記載すること

【注意事項】

- 1 この証明書は、災害の目撃者（現認者）が「現認書」として作成し、現認者がいない場合は、災害の通報を受けた職員が「事実証明書」として作成すること。
- 2 「災害発生の状況」の欄は、できるだけ詳しく記入すること。
- 3 証明者の住所は現住所を記載すること。